

# 審査員からのコメント

本研究は、制服選択制の導入をきっかけとして、高校生がLGBTに向き合い、LGBTに配慮した学校づくりを目的とした取り組みである。まず、生徒や保護者に対するアンケートで現状を認識。次に、LGBT当事者との面談や、LGBTに対応した職場環境を提供している企業へのアンケート等様々な活動を通じて課題を明確にすることで、トイレのジェンダーフリー化や楽しく学べる校内展示など、具体的な方法を提案し実践しているところが高く評価できる。課題解決は、「人々の意識を変える」ことであり、一朝一夕には進まないと思われるが、こうした活動が「気付き」となり若い世代の理解者を増やすことで、多様性のある社会が構築されていくことを期待する。

